

## 令和3年度 学校関係者評価報告書

大阪市立川北小学校 学校協議会

## 1. 総括についての評価

本年度の学校の自己評価は、妥当である。

本年度の目標項目については、コロナ禍の中、新型コロナウイルス感染症対策として中止した取組以外は、すべての取組を実施し、【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】、【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】ともに、それぞれの目標・取組内容等を一定達成することができたと考える。特に、学力面における「学力向上への取組」、「児童の学びの保障」や德育面における「仲間づくりの取組」において成果が上がっていることは、評価できる。体育面については、コロナ禍における課題を整理して、引き続き、取組をすすめてほしい。

今後も成果と課題をしっかりと踏まえ、校訓・学校教育目標（めざす子ども像）の達成をめざして、保護者・地域・進学中学校と連携を図りながら、引き続き、様々な取組をすすめてほしい。

## 2. 年度目標ごとの評価

## 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

## 全市共通目標（小・中学校）

- 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。  
学校で認知したいじめについては、すべて解消に向けて取り組んだ ⇒ 目標どおりに達成した
- 令和3年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。  
令和3年度：91.6% ⇒ 目標どおりに達成した。
- 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。  
令和2年度：0件 令和3年度：0件 ⇒ 目標どおりに達成した
- 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。  
令和2年度：0名 令和3年度：0名 ⇒ 目標どおりに達成した。

## 学校園の年度目標

- 令和3年度の学校保護者アンケートにおける「学校は、安全・安心な教育環境づくり（環境美化、環境衛生等）に努めている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を80%以上にする。  
1学期末：92.3% 2学期末：90.6% ⇒ 目標どおりに達成した
- 令和3年度の学校児童アンケートにおける「学校や家庭・地域などで地震や津波・火災が起こったとき、どう行動したらよいか知っている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。  
1学期末：89.6% 2学期末：91.8% ⇒ 目標どおりに達成した
- 令和3年度の学校保護者アンケートにおける「子どもたちは、学校のきまり（ルール）を守っている」の質問に肯定的回答をする保護者の割合を90%以上にする。  
1学期末：95.8% 2学期末：95.1% ⇒ 目標どおりに達成した
- 令和3年度における学校児童アンケートにおける「友だちの気持ちを考え助けようとしている」、「自分にはよいところがある」の質問に、それぞれ肯定的回答をする児童の割合を90%以上にする。  
「友だちの気持ちを考え助けようとしている」  
1学期末：87.9% 2学期末：90.2% ⇒ 目標どおりに達成した

## 「自分にはよいところがある」

1学期末：67.1% 2学期末：65.7% ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった

- 令和3年度の学校児童アンケートにおける「読書が好きですか」の質問に肯定的回答をする児童の割合を70%以上にする。

1学期末：81.5% 2学期末：80.2% ⇒ 目標どおりに達成した

### 取組内容①

- ・すべての児童に、日々の健康観察表を活用し、感染症対策（毎朝の検温、ていねいな手洗い、アルコール消毒、マスクの着用など）を徹底した。
- ・避難訓練＜火災を想定：4月22日（木）、地震を想定：6月8日（火）、大阪880万人訓練（大雨警報発令のため中止）と連動させて：9月3日（金）、放送での講話：1月17日（月）、不審者を想定：11月12日（金）、>、防災・減災学習＜9月3日（金）…西淀川区役所からの防災・減災DVDを活用>を実施した。

### 取組内容②

- ・児童会を中心とした「あいさつ運動」<1学期：6月21日（月）～25日（金）、2学期：11月29日（月）～12月3日（金）、3学期：2月14日（月）～18日（金）>を実施し、チェックカードによる振り返りを行った。
- ・「よいところさがし週間」<1学期：7月5日（月）～9日（金）、2学期：12月13日（月）～17日（金）、3学期：2月28日（月）～3月4日（金）>を実施し、チェックカードによる振り返りを行った。
- ・不定期であるが、感染症対策を講じ、異学年交流を楽しめるような集会活動を実施した。

### 取組内容③

- ・校長経営戦略支援予算【基本配付】を活用し、回転式書架や蔵書管理ソフト（スクールプロ）等を購入し、学校図書館の整備（蔵書の分類・整理、データベース化等）をすすめた。
- ・学校図書館補助員のもと開館（148回：R4.2.24現在）、学校図書館を活用した調べ学習・読書活動等を各学級各学期1回以上行っている。
- ・毎週水曜日（1～4限：5, 6年対象）、進学中学校教員との合同授業（体育科）を実施した。
- ・10月25日（月）、進学中学校と連携して、中学校体験授業、部活動見学を実施した。

達成状況の評価は、妥当である。

児童はルールを守り、安全に学校生活を送ることができているようだ。今後も、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、日常的な安全点検等をより充実させることで、児童にとって安全・安心な教育環境づくりに努めてほしい。また、引き続き、地域・保護者とともに、登下校の交通安全指導をはじめとする安全教育や防犯・防災教育のさらなる充実を図ってほしい。

学校安心ルールを運用し、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、また、「仲間づくり」を通して、望ましい児童集団づくりをすすめており、一定の成果が上がっていると言える。

コロナ禍においては、児童の心のケアが課題となっている。今後も、児童の心に寄り添い、心の成長を促す指導をすすめてほしい。

児童の基礎学力の定着につながる読書力向上に向けて、学校図書館・教室の蔵書の分類、整理をすすめた結果、児童にとって、より良い読書環境が整い、学校図書館等の活用が活性化しているようだ。今後も取組の継続を期待している。

小中連携についても、良い取組なので、継続してほしい。

### 全市共通目標（小・中学校）

- 令和3年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度よ

り向上させる。

4年…令和2年度：97.4 令和3年度97.7 ⇒ 目標どおりに達成した

5年…令和2年度：97.7 令和3年度99.3 ⇒ 目標を上回って達成した

6年…令和2年度：100.0 令和3年度：99.5 ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった

- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。

4年…令和2年度：22.2% 令和3年度：24.0% ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった

5年…令和2年度：24.7% 令和3年度：16.7% ⇒ 目標を上回って達成した

6年…令和2年度：12.5% 令和3年度：15.3% ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった

- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。

4年…令和2年度：16.7% 令和3年度：14.0% ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった

5年…令和2年度：19.2% 令和3年度：22.2% ⇒ 目標どおりに達成した

6年…令和2年度：25.0% 令和3年度：26.4% ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった

- 令和3年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

令和2年度：77.0% 令和3年度：70.4% ⇒ 取り組んだが目標を達成できなかった

- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題である（立ち幅とび）の平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。（令和元年度を基準に年度途中に目標設定を反復横とびから立ち幅とびに変更）

#### 立ち幅とび

男子…令和元年度：139.44 令和3年度：160.47 ⇒ 目標どおりに達成した

（令和元年度大阪市平均：149.30）

女子…令和元年度：131.03 令和3年度：146.42 ⇒ 目標どおりに達成した

（令和元年度大阪市平均：142.68）

#### 学校園の年度目標

- 令和3年度の学校児童アンケートにおける「授業はわかりやすい」の質問に肯定的回答をする児童の割合を80%以上にする。

1学期末：84.4% 2学期末：92.2% ⇒ 目標どおりに達成した

- 令和3年度の多文化理解等につながる体験的活動を実施後のアンケートにおいて「多文化に興味関心をもった」と答える児童の割合を80%以上にする。

新型コロナウイルス感染症対策のため、文化理解等につながる体験的活動が実施できなかつたので、令和3年度の学校児童アンケートにおける「いろいろな国の文化（食べ物、服、遊びなど）に興味がある。」の質問に肯定的回答をする児童の割合（参考）

1学期末：69.8% 2学期末：65.9% ⇒ 取り組んだが、目標を達成できなかった

- 令和3年度の学校児童アンケートにおける「手洗いがんばりカード」の質問に、肯定的回答をする児童の割合を手洗い90%以上にする。

1学期末：94.2% 2学期末：94.7% ⇒ 目標どおりに達成した

- 令和3年度の学校児童アンケートにおける「好き嫌いなく食べている」の質問に肯定的回答をする児童の割合を85%以上にする。

1学期末：81.8% 2学期末：78.5% ⇒ 取り組んだが、目標を達成できなかった

- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を前年度より向上させる。

令和元年度体力合計点 男子：53.89 女子：56.30

↓

令和3年度体力合計点 男子：54.85 女子：54.32

男子：目標どおりに達成した 女子：取り組んだが、目標を達成できなかつた

#### 取組内容④

- ・各学級、学習室等で、ICT機器（電子黒板・タブレット等）を活用した学習活動等を週1回以上実施できた。「緊急事態宣言」発令中には、全児童に1人1台学習者用端末を自宅へ持ち帰らせ、双方向通信をはじめ、オンライン学習等を実施することができた。また、3学期には、国語、算数のオンライン学習を全学年で日常的に実施することができた。
- ・教員の研究授業、公開授業等を26回（R4.2.24現在）実施した。
- ・教育指導員等を指導要請し、研究授業（5回）・研究協議（1回）を実施した。（R4.2.24現在）
- ・1年遠足<10月12日（火）：尼崎城址公園>、2年遠足<10月15日（金）：天王寺動物園>、3年遠足社会見学<10月19日（火）：あべのハルカス>、4年遠足<10月8日（金）神戸ハーバーランド>、5年一泊移住<10月29日（金）～30日（土）：大阪府立少年自然の家>6年修学旅行<12月10日（金）～11日（土）：岡山県倉敷方面>を実施した。
- ・11月～1月（毎週金曜日放課後）、地域ボランティアを活用し、放課後学習会を実施した。

#### 取組内容⑤

- ・新型コロナウイルス感染症対策の一環として、多文化理解等につながる体験的活動や子どもの人権に関わる教職員研修を中止とした。

#### 取組内容⑥

- ・日常的に、教職員による校内環境の安全点検・衛生管理等を徹底することができた。
- ・「手洗い週間」（各学期1回）を実施した。
- ・教職員研修「食物アレルギー対応」：4月8日（木）、「熱中症対策」：6月16日（水）、「救急救命」：6月25日（金）を実施した。
- ・「保健だより」、「給食だより」（月1回）を発行し、家庭（保護者）への啓発をすすめた。
- ・「川北運動フェスティバル（ミニ運動会）」、「合同なわとび運動（1・2年）、（3・5年）、（4・6年）」、「シナプソロジーの取組（4年）」を実施した。

達成状況の評価は、妥当である。

児童の基礎学力の確実な定着をめざし、「授業の充実」に努める、また、教員の授業力向上に向けて、研究主題を「自分の思いや考えを伝え合う力を育てる」と設定し、3年間の校内研究をスタートさせるなど、「学力向上への取組」が一定の成果を上げているようだ。また、コロナ禍における「児童の学びの保障」に向けて、ICT機器（タブレット等）や双方向通信の環境の整備等をすすめ、全学年において、オンライン学習（国語、算数）を実施できるようになったことは、評価できる。

今後も、オンライン学習の内容等の充実を図るため、教職員のオンライン学習における基礎的なスキル向上など、教職員研修などをすすめてほしい。

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大があり、体育的行事等の実施に様々な制約があり、児童の体力づくりや児童の運動習慣づくりにおいて、大きな課題となっているようだ。課題を整理して、引き続き、取組の改善に努めてほしい。

今後も、新型コロナウイルス感染症対策、食物アレルギー対応など、児童の健康・体力の保持増進を図るため、自主的に健康管理及び規則正しい生活習慣を身につけることができる取組を期待する。

### 3. 今後の学校運営についての意見

新型コロナウイルス感染症対策など、児童の安全確保を最優先に教育活動を推進することが不可欠である。

基礎学力・基礎体力の定着をはじめ、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」、「人間力」、「学びに向かう力」の育成も大切であると考える。児童の基本的な生活習慣・新型コロナウイルス感染症対策を含めた健康習慣（「新しい生活習慣」など）の確立、規範意識の醸成、仲間づくりを基盤とした「いじめを許さない学校づくり」、また、交通安全指導をはじめとする安全教育や防災教育の充実に引き続き取り組んでほしい。

今後も、様々な教育課題解決のため、学校教育の質をより高めるため、また、教育活動をより活性化させるためにも、学校、家庭、地域、進学中学校が一体となって、教育活動を推進していくことを期待する。